



古都っ子だより

令和7年2月28日
岡山市立古都小学校

《心豊かにたくましく生きる児童の育成》 元気な子 やさしい子 考える子



子どもたちを守るために！

現在、多くの小学生が LINE や TikTok などの SNS を利用しています。便利で楽しいツールですが、大人の目が届きにくい場所で使われ、それをきっかけとしたトラブルが増えています。「グループ外し」と言われるネット上の「仲間外れ」や「無視」、「誹謗中傷・悪口」、「確証のないうわさの伝聞」等によって子どもたちがお互いに疑心暗鬼になったり傷ついたりし、疎外感やストレスにさらされる事例、また、SNS や動画に夢中になり時間管理ができず、学習や睡眠に悪影響を受ける事例等があります。

SNS はネットの向こうの相手が見えないため、文字のやりとりによる行き違いが起こりやすい特性があります。また、心ない言葉がエスカレートしていじめにつながるケースもよく見られます。ネット上のトラブルが嫌な場合でも「自分が我慢すればいい」「叱られるかもしれない」と思って隠してしまう子どももいて、大人が気づいた時には状況が深刻化している場合も少なくないと言われます。

SNS の便利さを享受するわたしたち大人は「SNS が悪でない」ことは分かっています。それは「正しい使い方」を知っているからです。一方、人との正しい関わり方や接し方を身に付ける途上にある子どもたちはどうでしょう。限られた文字のやり取りでは、大人であっても行き違いや誤解を生じることがあります。子どもたちならなおさらで、適切なやり取りが難しい場面があることは簡単に想像できます。

だからと言って SNS の危険性ばかりを強調し禁止するだけでは、好奇心旺盛な子どもたちが隠れて使うことにつながるだけでしょう。必要なことは、「SNS の特性をよく理解すること」「正しい使い方を身に付けること」の二つであると考えます。

- 使うアプリ、交流する相手、使う場所、使う時間や時間帯を決め、保護者と十分に話す。
- 端末や通信料は保護者が負担するもので、約束をしたうえで使っているという意識を徹底する。
- 管理だけでなく、子どもとともに約束を作り、困ったらすぐ相談できる関係づくりをする。

学校では、情報セキュリティや情報モラルの点から SNS の使い方やトラブルの対処法を指導します。しかし、ふだん子どもたちがスマホやタブレット等を使う場所は学校外です。「正しい使い方を学ぶ」ためには、ご家庭の皆様の指導が不可欠です。保護者の皆様には、ご家庭でのお子様の SNS 等の利用状況を把握していただき、正しく使うことができるようご指導いただくことが重要です。また、子どもたちが嫌な思いをした時「味方でいてくれる人がいる」と感じられるよう、日頃から安心して相談できる関係を築いていただくことも大切です。さらに、地域の皆様には地域全体で子どもたちを見守る意識をさらに強めていただき、何か異変に気づいたときには学校へお知らせいただければと思います。

SNS は日進月歩で変化しています。でも、よりよく人をつないでいく役割は今後も不変と思われます。使い方を誤れば人が不幸になる道具であることを忘れないようにし、子どもたちがよりよく成長できるように守っていくため、私たち大人が果たす役割を考えなくてはなりません。

校長 石井 聡

裏面に続く